

防災教育モデル実践事業

防災教育実践事例集 〈第2集〉



平成27年3月
大分県教育委員会

はじめに

未曾有の被害が生じた平成23年3月11日の東日本大震災から、4年が経過しました。被災地の復興が十分に進まない一方、震災関連の報道を目にする機会が減り、あの日誰もが感じた災害に対する恐怖心や防災の重要性に対する意識がいつの間にか薄らいでいるといった危機感を持つ方も少なくないと思います。3.11を忘れることなく、万一の災害に備えるためには、常に防災の意識を持ち続けることが必要であると考えます。

県教育委員会では、平成24年度から、文部科学省の「実践的防災教育総合支援事業」の委託を受け、「防災教育モデル実践事業」を実施してきました。平成24・25年度は小中学校を、平成26年度は、高等学校と特別支援学校をモデル校に指定したことで、4つの校種の事例を揃えることができました。

今年度は、高等学校においては、生徒が支援者となる視点から、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を向上させるための取組及び県立学校と自治体との連携の在り方を探る研究を進めました。また、特別支援学校においては、障がいのある児童生徒が主体的に行動する態度の育成及び災害時要援護者の避難、医療を必要とする児童生徒への対応を中心に教職員の取組に関する実践を行いました。

この度、そのモデル校2校の取組をまとめた実践事例集〈第2集〉を作成しました。他の校種の事例を知ることにより、系統的に防災教育を理解することができるようになるとともに、各学校だけの防災にとどまらず、地域との連携に発展していくことを期待するものです。

昨年度作成した防災教育事例集とともに本第2集が各学校において防災教育のより一層の充実のために活用され、児童生徒や教職員の防災に対する意識や知識、実践力の向上と地域との連携を図る方策の一助となれば幸いです。

終わりに、本事例集の作成に当たり、事例を提供していただいた県立臼杵高等学校及び中津支援学校並びに御協力いただいた関係各位に対しまして、厚く御礼申し上げます。

大分県教育庁体育保健課長 蓑田 智通

も く じ

I 高等学校防災教育実践事例

1 取組の概要	
(1) 取組イメージ	1
(2) 組織図	1
(3) 日程等	1
2 実践経過	2
3 防災避難訓練の実施	
(1) 第1回避難訓練	4
(2) 第2回避難訓練	4
(3) 第3回避難訓練	5
(4) 第4回避難訓練	6
4 東日本大震災被災地視察報告	7
5 避難所運営訓練の実施	
(1) 避難所運営マニュアル	19
(2) 実施要項	20
(3) 当日の様子	21
(4) 避難所運営訓練を振り返って	24
6 1年間の取組を振り返って	25

II 特別支援学校防災教育実践事例

1 取組の概要	
(1) 取組の全体像	26
(2) 年間計画	26
2 災害対応体制の確認、整備～災害対策本部の立ち上げ	
(1) 教職員研修～教職員の防災に対する意識の向上をめざして～	27
(2) 災害対策本部～災害対策本部の課題解決・改善をめざして～	30
3 防災教育の実際	

(1) 防災講習会	3 5
(2) 避難所生活体験	3 6
(3) 避難訓練	3 7
(4) 自助に向けての取組	3 9

4 学校環境整備

(1) 災害時を想定した学校環境整備	4 2
--------------------	-----

5 医療を必要とする児童生徒への対応

(1) 医療的ケアの児童生徒への対応	4 4
(2) 服薬をしている児童生徒への対応	4 4
(3) 体調管理に配慮を必要とする児童生徒への対応	4 5

6 保護者や地域・関係機関との連携

(1) 保護者との連携	4 6
(2) 地域・関係機関等との連携～実践委員会～	4 9

III 資料

1 臼杵高等学校の実践に係る資料

(1) 災害発生時における生徒の動き	5 1
(2) 災害発生時における職員の動き	5 2
(3) 緊急時の放送について	5 3
(4) 臼杵市避難所開設運営マニュアル（抜粋）	5 4

2 中津支援学校の実践に係る資料

(1) R S K式防災問診表	7 1
(2) 災害伝言ダイヤル171演習	8 1
(3) 地震津波避難マニュアル（抜粋）	8 2
(4) 安否確認等の名簿	9 6
(5) 問診票	9 7
(6) 防災だより	9 8